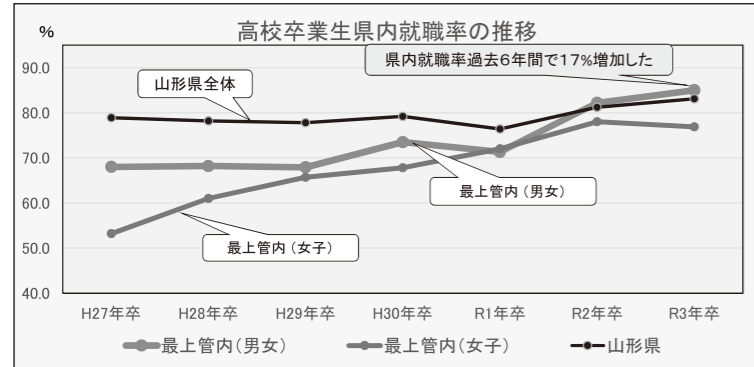




あらかわ ひろみつ 荒澤 広光 議員

孫プロジェクト事業の 拡充を

農業の魅力発信のため準備する



	H27年卒	H28年卒	H29年卒	H30年卒	R1年卒	R2年卒	R3年卒
最上管内(男女)	68.0	68.2	67.9	73.5	71.3	82.2	85.0
最上管内(女子)	53.2	61.0	65.7	67.8	72.0	78.0	76.9
山形県	78.9	78.2	77.8	79.2	76.4	81.2	83.1

上昇している高校生の県内就職率

【質問】 町では、若者たちに町や地域の魅力を伝え、「町で暮らす」ことを将来の選択肢の一つとし、若者の地元定着・地元回帰に繋げる目的として「孫プロジェクト事業」を継続しています。中学生を対象にした、「ふながたWAKU WAKU WORK」は今年度9社から協力していただいたが、次年度以降は企業だけではなく、農

【町長】 若者世代が地域外へ流出することが人口減少を加速させる大きな要因であることから、若者の地元回帰につながるよう事業を進めています。舟形町からの通勤圏内に

家からも協力をいただき、スマート農業、作物の生産工程も紹介できれば農業の魅力、地元定着に寄与できると思います。町長の考えを伺います。

【質問】 舟形団地は老朽化が進み、浴槽、シャワー

【町長】 大規模改修は1、2号棟は平成21、27、28年度に実施しております。風呂釜等の設備や、建具の不具合に関しては入居者の対応が基本となりますが、状況により異なりますので町の担当にご相談ください。

【町長】 早期改修を望む計画は無い

等々の給湯設備は、旧型のガスボイラーのため小学校高学年でも扱いが難しい現状です。早期に改修が必要だと思いますが、町長の考えを伺います。

当団地は近年の住居に求められる要件を満たしていないところが根本的な課題ですので、入居者の高齢化や入居需要の推移を勘案しながら、時代に合った住宅のあり方を検討してまいります。

若者の対応が基本となりますが、状況により異なりますので町の担当にご相談ください。



子どもと高齢者に配慮した居住環境を



福祉まるごと相談窓口（山形市）

【質問】 健康福祉課内にあ

【質問】 健康福祉課内にあ

【町長】 昨年度は窓口の周

【質問】 東北初となる、東

相談、生活困窮者の自立

【町長】 農林専門職大学の

民間業者の用途が

アパート用地以外の造

成地の活用については、



おぐに ひろふみ 小国 浩文 議員

ひきこもり支援対策は

相談窓口を開設

携を図り、支援を行って

いくのか町の考えを伺

ます。

【町長】 昨年度は窓口の周

知を

【町長】 昨年度は窓口の周

知を

【町長】 昨年度は窓口の周

知を

【町長】 昨年度は窓口の周

知を

【町長】 昨年度は窓口の周

知を

【町長】 昨年度は窓口の周

【町長】 昨年度は窓口の周

【町長】 昨年度は窓口の周